

小国町商工会

小国町 商工業・観光関連産業 経済動向レポート（会員向け）

人口・観光・中小企業景況からみる地域経済の現状と会員支援情報

令和8年（2026年）8月

1

はじめに

小国町商工会では、会員の皆様の経営判断や今後の事業計画の一助となるよう、人口・産業構造・観光動向および中小企業の景況について、公開されている統計・行政発表情報を整理しました。

観光関連産業（宿泊・飲食）や農林業が地域経済を支える一方、全国的な中小企業の景況判断は悪化傾向にあり、原材料高・人手不足・最低賃金の引き上げへの対応など、会員事業者の経営環境は厳しさを増しています。

6,054人

小国町の人口（令和8年7月）

▲ 18.7

全国中小企業 業況判断DI（4期連続低下）

約23.9億円

令和6年度 観光消費額（回復基調）

6,054人

総人口（令和8年7月1日）

3,003世帯

世帯数

44.3%

高齢化率（2025年時点）

▲ 63%

人口減少率（S30→現在, 70年間）

人口は昭和30年（1955年）の16,467人をピークに長期的な減少傾向が続いています。一方、単身世帯・高齢者世帯の増加により、世帯数の減少は人口ほど急激ではありません。

2025年時点の年齢構成

生産年齢人口（15～64歳）	46.4%
年少人口（0～14歳）	9.3%
高齢化率	44.3%（熊本県平均を上回る）

医療・介護・買物支援・公共交通への需要が高まる一方、事業所においては人手不足・後継者不足が経営上の課題となっています。

所在地：熊本県最北東部 面積136.94km²（町域の約8割が森林）

隣接自治体：阿蘇市・南小国町・産山村（熊本県）、九重町・日田市（大分県）

特徴：大分県との商業・観光交流が盛ん

地域資源

阿蘇くじゅう国立公園 / 鍋ヶ滝 / 杖立温泉

小国杉 / ジャージー牛乳

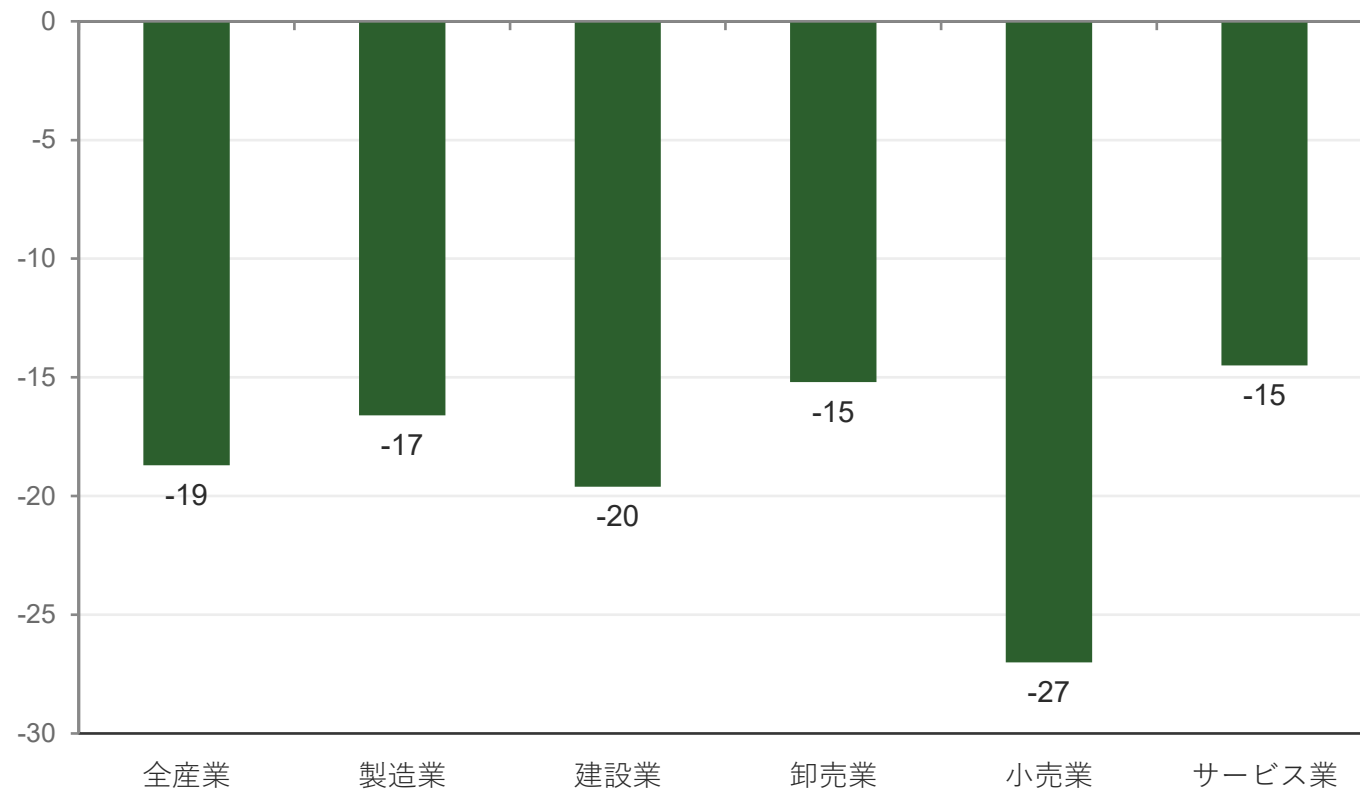
比較自治体（広域観光連携の視点）

自治体	特徴
小国町	森林・温泉・木材産業
南小国町	黒川温泉を中心とした宿泊観光
阿蘇市	人口規模が大きく商業集積
九重町（大分県）	夢大吊橋・飯田高原・温泉

阿蘇地域の豊かな自然・温泉資源を活用した観光型の地域経済という特徴があり、周辺自治体との広域観光連携の余地があります。

全国・地域の中小企業景況

業況判断DI (2026年4～6月期)



全産業の業況判断DIは▲18.7（前期差▲1.1pt）となり、4期連続で低下。特に小売業は▲27.0と最も厳しい水準です。サービス業のみ前期から改善（▲14.5、+0.9pt）しています。

九州・沖縄地域

業況判断DIは前期の▲6から▲15へ悪化。原材料・エネルギーコストの上昇や仕入価格の高止まりが、宿泊・飲食業をはじめとする会員事業者の収益を圧迫している可能性があります。

全国・地域の中小企業景況

最低賃金の改定と対応策

1,034円

熊本県 地域別最低賃金

令和8年（2026年）1月1日改定

+82円

2002年度以降で最大の上げ幅

パート・アルバイトを含む全ての労働者が対象

会員事業者への影響

人件費計画の見直しが必要な会員事業者も多いと考えられます。特に宿泊・飲食・小売業など労働集約的な業種では、コスト構造への影響が大きくなります。

対応策：業務改善助成金

対象：事業場内最低賃金を30円以上引き上げ、生産性向上のための設備投資等を行った中小企業・小規模事業者

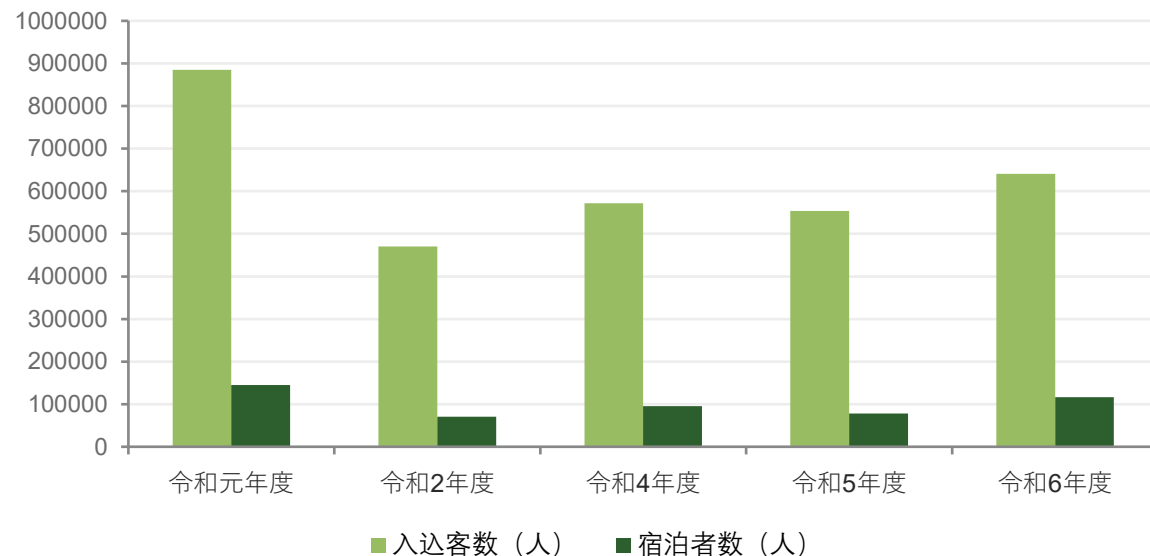
助成率：事業場内最低賃金の水準に応じて4分の3～5分の4

ポイント：人手不足対策と合わせた省力化投資の検討にあわせて、商工会へのご相談をおすすめします。

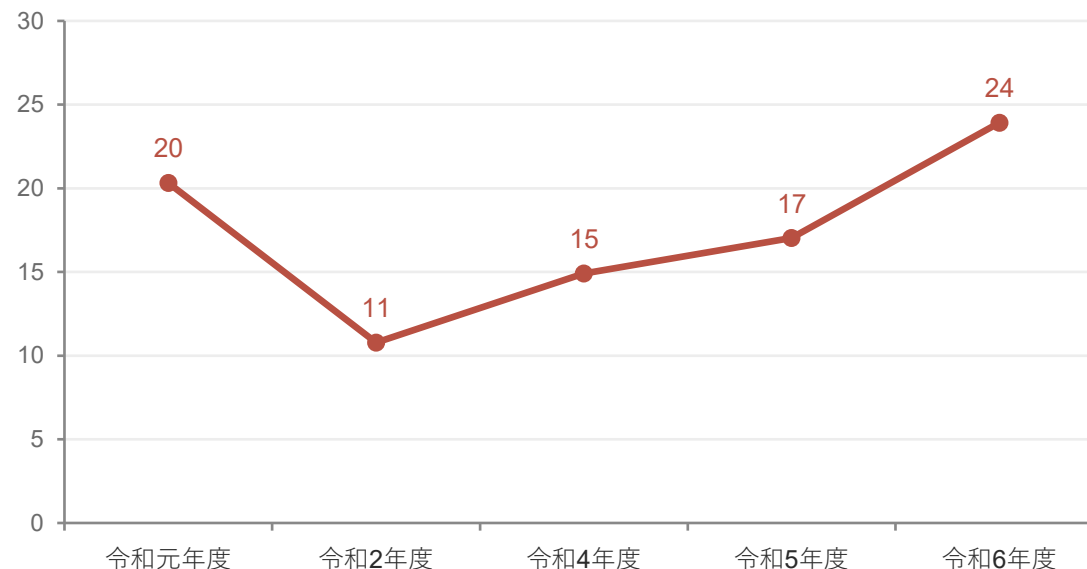
小国町の観光関連産業の動向

宿泊者数・入込客数・観光消費額の推移

入込客数・宿泊者数（人）



観光消費額（億円）



新型コロナウイルス拡大で令和2年度に大きく落ち込んだ観光需要は、令和6年度に明確な回復を示しています。観光消費額（約23.9億円）はコロナ禍前の令和元年度（約20.3億円）を上回る水準に。

出所：小国町公表観光統計に基づく集計（令和3年度分は未整理のため割愛）

4

小国町の観光関連産業の動向

主な特徴と今後の視点

1

観光消費額の回復

令和6年度は約23.9億円となり、コロナ禍前の令和元年度（約20.3億円）を上回る水準まで回復。

2

宿泊者数はまだ回復途上

令和6年度は約11.6万人。令和2年度（約7.0万人）から持ち直したが、令和元年度（約14.5万人）には未達。

3

宿泊比率向上の余地

入込客数に占める宿泊客比率の向上は、飲食・土産物・体験型観光など地域内消費の拡大に直結。

阿蘇地域全体の観光需要回復やインバウンド需要の取り込みが、今後の宿泊・飲食業の売上にも波及することが期待されます。滞在時間・来訪者居住地・周遊状況はRESAS等の最新データによる分析が必要です。

産業構造の特徴と商工業への示唆

小国町の就業構造は農林業・建設業・宿泊業・飲食サービス業・医療福祉が地域経済を支える構成で、都市部と比べて宿泊・飲食業や農林業の比重が高いことが特徴です。

特化係数（全国平均＝1.0とした産業集積度の傾向）

産業	評価
農林業（小国杉・林業・木材加工）	高い
宿泊・飲食サービス業	高い
建設業	やや高い
製造業	低い

事業所・開廃業の動向

宿泊・飲食業、小売業、建設業、医療・福祉を中心に事業所が立地。人口減少に伴い事業所数は減少傾向にある一方、観光需要に支えられる業種では新たな開業の動きも。後継者不足による廃業率上昇が懸念される一方、観光・飲食・体験型サービス分野での新規創業・移住者による開業が地域経済の新陳代謝の鍵です。

※ 産業別就業者数・特化係数の具体値、開業率・廃業率は経済センサス・e-Statの最新公表値に基づき今後更新することを推奨します（本資料は傾向・考察の提示にとどめていきます）。

6 まちづくり・行政インフラの動き

1 NISHIZATO TERAS（ニシザトテラス）

2025年4月1日供用開始。新たな地域活性化の拠点として期待。

2 北里柴三郎記念館の整備

北里柴三郎記念館は、地域の偉人を核とした学びと観光の拠点として、小国町のブランド価値向上と交流人口の拡大に寄与。

3 公共交通の維持

「小国郷ライナー」（九州産交バス等）や乗合タクシーの運行を継続。

4 財政の健全性

健全化判断比率・資金不足比率の毎年公表、地方消費税交付金の使途明確化。

これらの動きは観光客の周遊環境や住民の生活利便性に関わるものであり、会員事業者にとっても新施設周辺での事業機会や広域交通を活用した集客の可能性として注視する価値があります。

7

会員向け支援制度・イベント情報

2026年6月時点の商工会公表情報より

1

補助金申請支援

販路開拓や生産性向上の経費（チラシ作成、店舗改装、ECサイト導入等）の一部を補助。経営計画書の作成を商工会が支援。

2

金融相談

資金繰り、融資のあっせん、日本政策金融公庫等との連携に関する経営指導員による相談。

3

税務相談

記帳指導、確定申告、消費税・インボイス対応など税務全般に関する相談。

4

労務相談

雇用契約、就業規則、社会保険、最低賃金対応など労務全般に関する相談。

人件費・仕入コストの上昇に対応するための省力化投資、事業承継、販路開拓に加え、資金繰りや税務・労務に関するお悩みについても、商工会では経営指導員による個別相談を随時受け付けています。まずはお気軽にご相談ください。

小国町は人口減少・高齢化という構造的課題を抱える一方、観光関連産業は令和6年度に消費額・宿泊者数とも回復基調。農林業・宿泊飲食業を中心とした地域経済の強みを活かす余地があります。全国的な中小企業DIは4期連続で悪化し、最低賃金の大幅な引き上げも重なるため、会員事業者にとっては人件費・コスト管理と生産性向上・付加価値向上の両立が重要な経営課題です。

今後の重点テーマ

- 観光消費の一人当たり単価向上（滞在時間の延伸、体験型観光の充実）
- 地域食材を活かした高付加価値商品の開発
- 林業・木材産業のブランド化
- 事業承継・省力化投資への支援活用

地域資源と支援制度を組み合わせた取組が、会員事業者の経営基盤強化につながるものと考えられます。

人口・世帯・高齢化率・地勢	熊本県小国町公式サイト、熊本県公式サイト
観光統計（宿泊者数・入込客数・観光消費額）	小国町公表観光統計
中小企業景況調査	中小企業基盤整備機構「第184回中小企業景況調査」、中小企業家同友会全国協議会「DOR158号」
会員向け支援制度・イベント情報	小国町商工会公式サイト（2026年6月時点）
行政・財政情報	小国町公式サイト、財務省九州財務局公表資料

本資料の統計値は作成時点で確認できた公開情報に基づいています。小売販売額・業種別消費動向・商圈分析・地域経済循環等、RESAS・V-RESAS等の最新データに依存する指標は、正確性を優先し記載を見送りました。